



セラピアVR

痛い・怖い治療体験をエンターテイメントへ

会社概要

社名：株式会社xCura

設立日：2021年2月2日

住所：福岡県福岡市中央区
大名1-3-41
プリオ大名ビル2F

代表：新嶋 祐一郎

“テクノロジーによる痛み・不安の軽減”

治療と聞くと、どのようなことをイメージするだろうか。
少なくとも、ポジティブなイメージはない。
これだけ技術が発達した現代でも、治療には大なり小なり
痛みが伴う。

セラピアVRは、Virtual Realityで、治療中の痛み・不安という
課題に取り組み、また行きたいと思えるような治療体験の実現
を目指す。

そして、治療中の痛みを皮切りに、慢性疼痛、
がん性疼痛、認知症など、あらゆる痛み・不安をテクノロジー
を通して寄り添い、痛みを怯える必要のない社会の実現を
目指す。

代表者プロフィール

新嶋 祐一郎

ニイジマ ユウイチロウ



1989年

福岡県に生まれる

2013年

國學院大學 文学部哲学科 卒業

スピリチュアルペイン(終末期医療における
“自己の存在と意味の消失から生じる苦痛”)を研究

2014年

カウンセラーとして活動開始。

國學院大學の藤野教授より、心理療法を学ぶ。
公益社団法人Save the Childrenにて新規事業の
立ち上げ等に従事しつつ、カウンセラーとして活動。

2016年

株式会社TATERU 入社

子会社の立ち上げ、及びホテルの新規開業業務に従事。

2021年

株式会社xCuraを登記

心理療法の特定の技法と、VRによる痛み軽減の原理が
似通っていることから、経験と痛みへの興味を生かせると考え、
2021年2月、福岡にて起業。

セラピアVRの利用シーン

治療を疑似体験させることで、
実際の治療をスムーズにする。
主に小児歯科で使用。



治療前

治療中に装着することで、意識を
VR映像に集中させ、
リラクゼーションを促す



治療前

医療機関から提供を受け、自宅
で、VRを使った心理療法の技法を
行う。
主に慢性疼痛向け。



自宅

様々な場面で使用可能

整形外科

皮膚科

緩和ケア科

産婦人科

歯科

精神科

リハビリテーション科

腎臓内科

麻酔科

※その他、痛みや不安の伴う治療・検査では汎用的に使用可能

解決したい課題

麻酔だけでは解決出来ない

痛み・不安

麻酔技術が発展した現代ではあるが、全ての痛みを軽減出来るわけではない。また、年齢によっても、**麻酔の使用量**に限りがあり、麻酔中毒による死亡例もある。

例えば、胃カメラにおいて、高齢者に使用出来る麻酔の量に限りがあり、痛がって体が動くことで、**治療・検査に時間がかかってしまう**という課題がある。

麻酔の効果を得るための

待機時間

歯科治療において、歯科恐怖症の患者などには、不安を軽減するために『**静脈内鎮静**』を行う。しかし、**自費で4~5万円と高額**で、かつ治療完了後、**30~120分**の覚醒時間が必要になる。

また、医療脱毛においては、VIOや髭の脱毛が痛みを伴いやすいため、表面麻酔を行うが、効果を得るために**40分ほど待機**する必要があり、回転率が上がらない大きな原因である。

セラピアVRのメリット

歯科医の声

『嘔吐反射のある患者に使用し、

VR単体でスムーズに治療出来た。』

『いつもなら抵抗する自閉症の患者様が、楽しく治療を受けていた』

VRでリラクゼーションを促すことで、
治療の生産性向上に寄与

*1回 1,000~3,000円。医療機関が自由に設定可能



セラピアVR の特徴



呼吸の長さやタイミングを VR映像でガイド

VR映像で呼吸の長さ・タイミングをガイドします。
VR映像に合わせて呼吸を行うことで、
リラクゼーションを促します。



心理療法の技術をVR化

自律訓練法や漸進的筋弛緩法のナレーションによって、
快適な治療体験を実現します。

VRディストラクションの論文

”VRは急性の痛み
に効果的なツール“

麻酔の量が1/6になっ
たとの報告もあり、
減薬も期待出来る。

world, but may not be “present” if they are not cognitively engaged in it. Previous studies have attempted to explain VR’s effect on pain, noting that decreased activation of pain processing areas in the brain may be responsible for subjective pain reduction with VR intervention.^{7,51,54} A shift in cognitive demand can lead to distraction from pain, and being “present” in the virtual environment can theoretically stimulate this shift. Even if someone is “immersed” in a virtual world, they may not be “present” in it. We recommend further research to determine if “immersion” and “presence” are conceptually different, and if so what impact they have on VR in reducing pain.

Conclusion

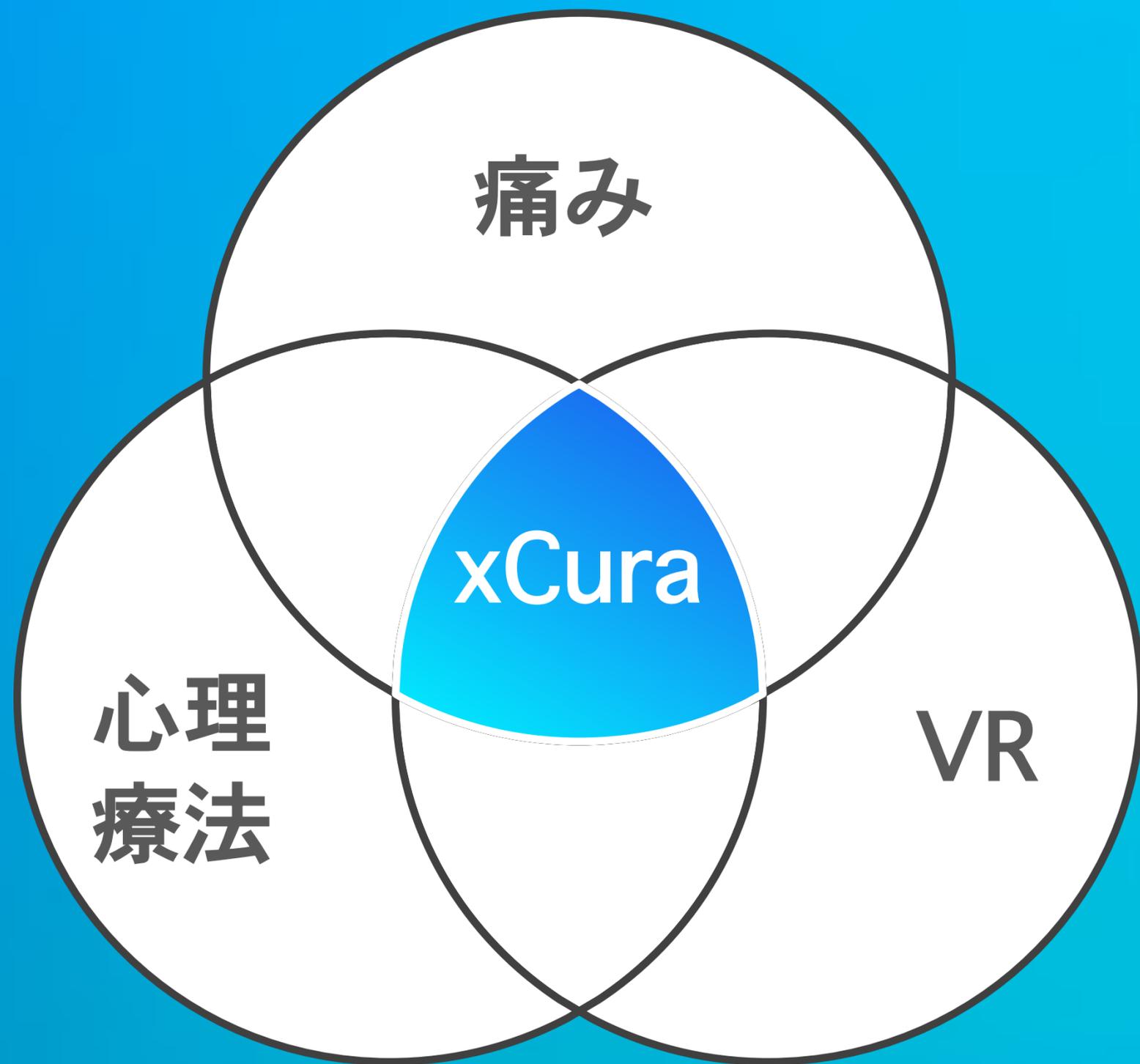
[Go to: ▶](#)

This study provides an updated systematic literature review showing the effects of VR on both acute and chronic pain. We conclude that VR is an effective tool in reducing acute pain both during and after a VR intervention, and that VR is especially effective in mitigating MPRP. The evidence for chronic pain relief with VR suggests that chronic pain may be reduced while the patient is immersed in the VR environment, but with minimal long-term carryover effect beyond the immediate postVR exposure time frame. Further research is needed to assess the extent to which one needs to be immersed and present in a virtual environment in order to reduce pain, and the dosage necessary to maintain pain reductions in chronic pain over time. Clinicians should consider immersive VR therapies as an adjunct to²³ standard care to help reduce acute pain and potentially for chronic pain conditions.

Acknowledgments

[Go to: ▶](#)

The authors are grateful to Dr Jason Hardage for his assistance with our review process and to Meira Prescher, Ping Zhang, Eric Kwan, and AJ Pluss for their thorough peer review. No sources of funding were used to create this systematic review.



xCuraだからこそ出来ること

代表の新嶋は、大学時に緩和ケアにおける患者様の精神的な痛みについて研究していました。

また、痛みを軽減するための心理療法を大学教授から学び、カウンセラーとして長年活動してきました。

心理療法の特定の技法とVRディストラクション※の原理は似通っており、心理療法の知見をもつ、xCuraだからこそ実現出来たプロダクトです。

※VRによって治療中の痛み・不安を軽減する手法のこと

トラクション

歯科
医療脱毛
透析
ペインクリニック
老人ホーム
など20件にて
試験導入済み



医師の声

嘔吐反射がなく、スムーズに治療出来ました。

慢性疼痛の患者様に自宅で使用頂き、リラクゼーションを促したことで、睡眠時間が増えた。

患者の声

呼吸のガイドがあり、リラックス出来ました。

没入感のある映像で映像に意識を集中させることが出来ました。



今後の研究予定先

2023年より、下記診療科目において複数の大学と共同研究を開始予定。

口腔外科

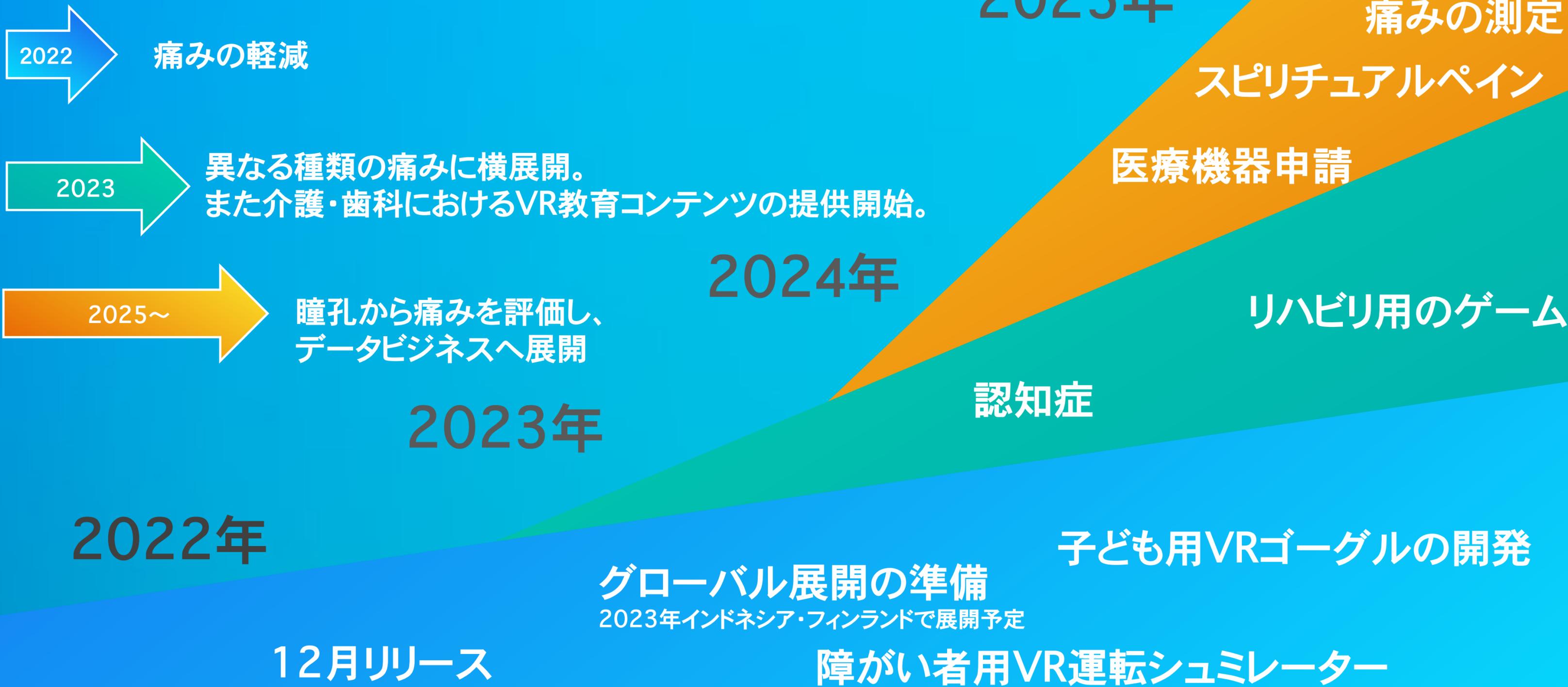
腎泌尿器科

消化器内科

ペインクリニック科

その他インドネシアの大学でも研究予定。

TherapeiaVRを起点としたスケール





株式会社 xCura

テクノロジーで

世界をペインから解放する